

知的財産マネジメント研究会
2020年度 アンケート調査

2020年5月

知的財産マネジメント研究会 (Smips)

はじめに

知的財産人材が育成され、そうした人材が数多く活躍すること、ならびに、異なる機関あるいはセクターに属する知的財産人材が横のつながりを持ち、そのネットワークの中で知的財産人材のキャリアモデル形成することを目指して、これまで「知的財産マネジメント研究会」を継続的に開催してきました。2000年4月より月1回のペースで開催し、現在は年8回開催しています。

これまで、広い意味での知的財産権とそのマネジメントを主軸のテーマとして、全体セッションならびに複数の分科会を開催し、講演会や討論を実施してまいりました。技術移転機関でライセンスアソシエイトとして活躍したいと考えている方、様々な所属組織で産学連携に携わっている方、スタートアップの操業を目指している方、知的財産権を研究対象とすることに関心がある方など、多様な方々にご参加いただいてまいりましたが、発足から20年間が経過した現時点において、どのような方々が参加してくださっているかを把握し今後の研究会の活動の企画・運営に生かすべくアンケート調査を実施いたしました。また、現在COVID-19により多くの方が働き方に変化を強いられている中で、知的財産や産学連携の分野において働き方にどのような影響がもたらされているかについても調査いたしました。ご協力くださった皆様、どうもありがとうございました。

本研究会は、発足以来、2020年5月の開催（初のオンライン開催でした）で第210回目となりました。知的財産・産学連携を取り巻く環境の変化に対応しながら、これまで少しずつ歩みを進めてきたことによる知の蓄積と、これまでの活動により形成されたネットワークを継続・発展させつつ、困難な時代を共に乗り越えてゆければ幸いです。

アンケート調査の結果概要

今回のアンケート調査は、知的財産マネジメント研究会のメーリングリストにご登録いただいている方々へウェブアンケートとして2020年4月23日～2020年5月7日に実施した。合計177名にご回答いただいた。

参加者の構成は男性が約8割、女性が約2割という構成であった。年齢別に見ると、50代男性が最も多く、40代男性、60歳以上男性、30代男性および40代女性となっている。回答者全体の職業構成については、民間企業に勤務が49.1%、大学・公的研究機関に勤務30.4%、士業事務所9.9%、フリーランス7.0%となっている。職業属性をさらに細かく分けると、数が多い順に、民間企業で知財に従事、大学・公的研究機関で産学連携に従事、大学・公的研究機関の研究者、民間企業の経営者・役員となっている。現在の仕事における業務年数は回答者全体では0-4年が最も多く、次いで、15-19年、5-9年、10-14年の順になっている。

知的財産・産学連携に従事しているかどうかに関して、その構成をみると、知的財産では現在従事している方が55.7%、現在は従事していないが過去にしていた、従事したことはないが今後してみたい、従事したことはないが今後も従事する予定がない方が同程度である。産学連携については、現在従事している方が34.1%、従事したことはないが今後従事してみたい方が29.9%、過去に従事したことがある方が18.9%、従事したことがなく今後も従事する予定がない方が17.1%となっている。また、現在産学連携に従事している方の職業の内訳については、大学・公的研究機関において産学連携に従事している方が最も多く、次いで、大学・公的研究機関の研究者、民間企業の知的財産、民間企業の企画・戦略、特許事務所の順になっている。

過去に携わったことのある職業については全体、現在知的財産に従事している方、現在産学連携に従事している方のいずれにおいても、民間企業に勤務が最も多く、次いで、大学・公的研究機関に勤務となっている。

学生時代の主な専門分野の構成については、全体では、バイオ・生命科学（医歯薬学・農学以外）が最も多く、次いで、化学、電気・電子、情報、物理、知財の順となっている。なお、「その他」の内訳は、農芸化学、神経発生学、言語学、デザイン、技術経営である。知的財産・産学連携に従事している・過去に従事していた方の専門分野を詳しくみていくと、現在知的財産に従事している方は、バイオ・生命科学（医歯薬学・農学以外）が最も多く、次いで、化学、物理である。過去に知的財産に従事していた方の専門分野については、化学が最も多く、知財、情報、法律（知財以外）、バイオ・生命科学（医歯薬学・農学以外）となっている。現在産

学連携に従事している方は、バイオ・生命科学（医歯薬学・農学以外）が最も多く、次いで化学、電気・電子となっている。過去に産学連携に従事されていた方は、化学が最も多く、次いで商学・経営、バイオ・生命科学（医歯薬学・農学以外）となっている。

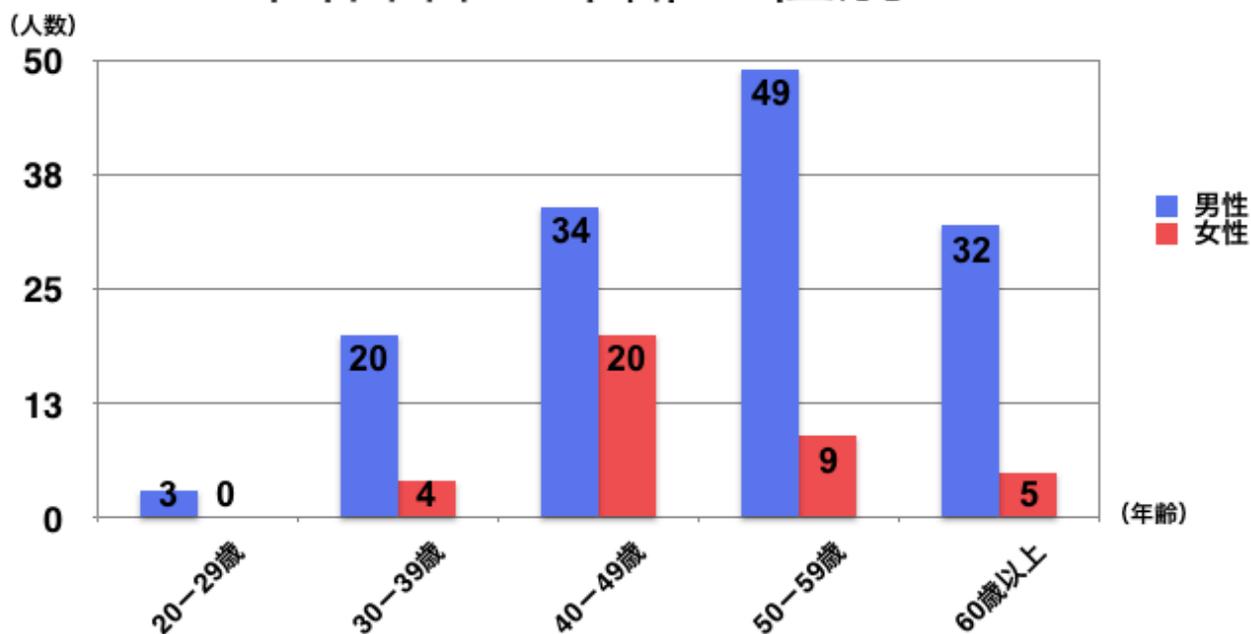
現在企業に勤務している方の構成を詳しくみると、全体と知的財産では大企業、中小企業、小規模企業の順であるが、産学連携では小規模企業が中小企業をわずかながら上回っている。知的財産と産学連携に従事したことのある方の現在までの業務年数については、産学連携では0-4年が最も多く、知的財産では10-14年、15-19年の順になっている。

保有している学位・資格等の構成については、全体、知的財産に従事、産学連携に従事、の全てにおいて修士が最も多く、次いで、博士、弁理士の順になっている。また、「その他」の多くは、知的財産技能士である。

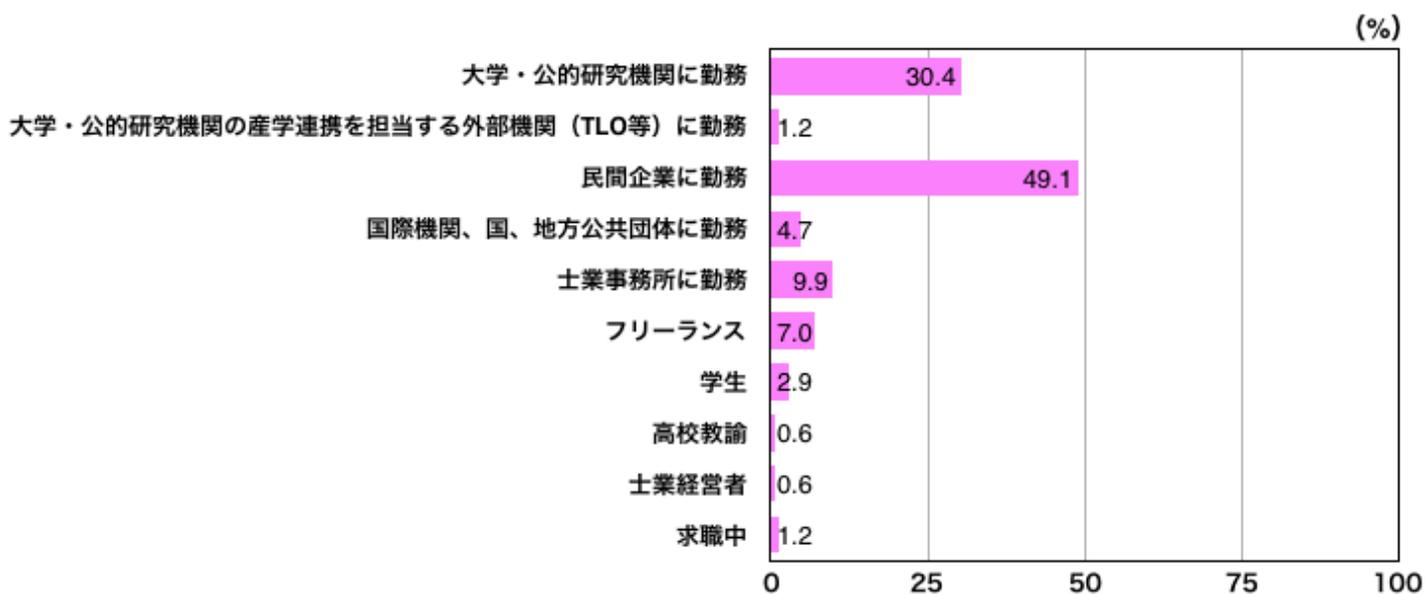
COVID-19による勤務体系の変化については、全てをリモート勤務に変えた方が最も多く、次いで、勤務の一部をリモートに変更した方となっている。使用している遠隔会議のツールについては、Zoomが最も多いが、Skype、Microsoft Teamsなども一定程度使用されている。在宅ワークによる効率性については、「以前と比べて変化がない」という回答が最も多く、それに「効率が悪くなった」という回答が続くが、「効率が上がった」と回答した方も一定程度おられた。「以前と比べて変化がない」と「効率が悪くなった」の回答者数を比べると、現在知的財産業務に従事している方では前者が若干多く、現在産学連携に従事している方では後者が若干多くなっている。

Smipsへの参加頻度は、年に1回程度、半年に1回程度、数年に1回程度、2-3回に1回程度、の順で回答数が多く、ほぼ毎回参加している方は8.1%となっている。Smips参加年数については、1-4年が最も多く、5-9年、10-14年の順となっている。満足度については、ある程度満足、とても満足が多く、多数の方々に一定程度満足いただいていることが分かった。

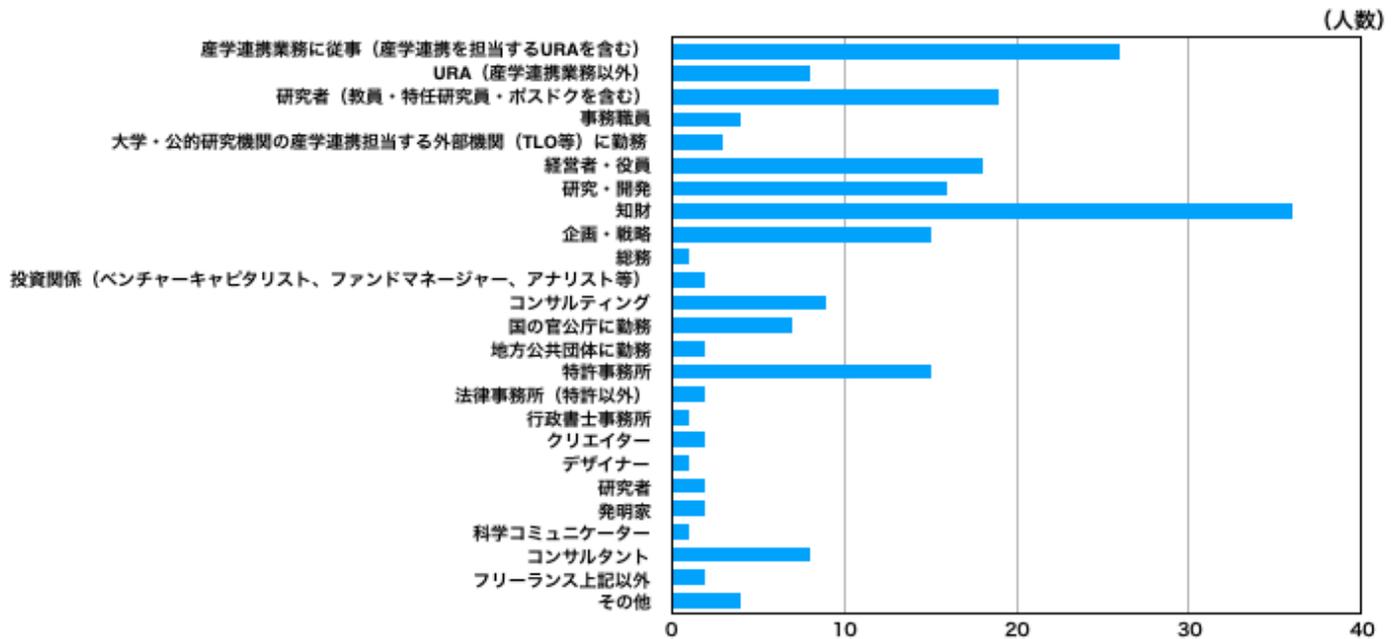
回答者の年齢・性別



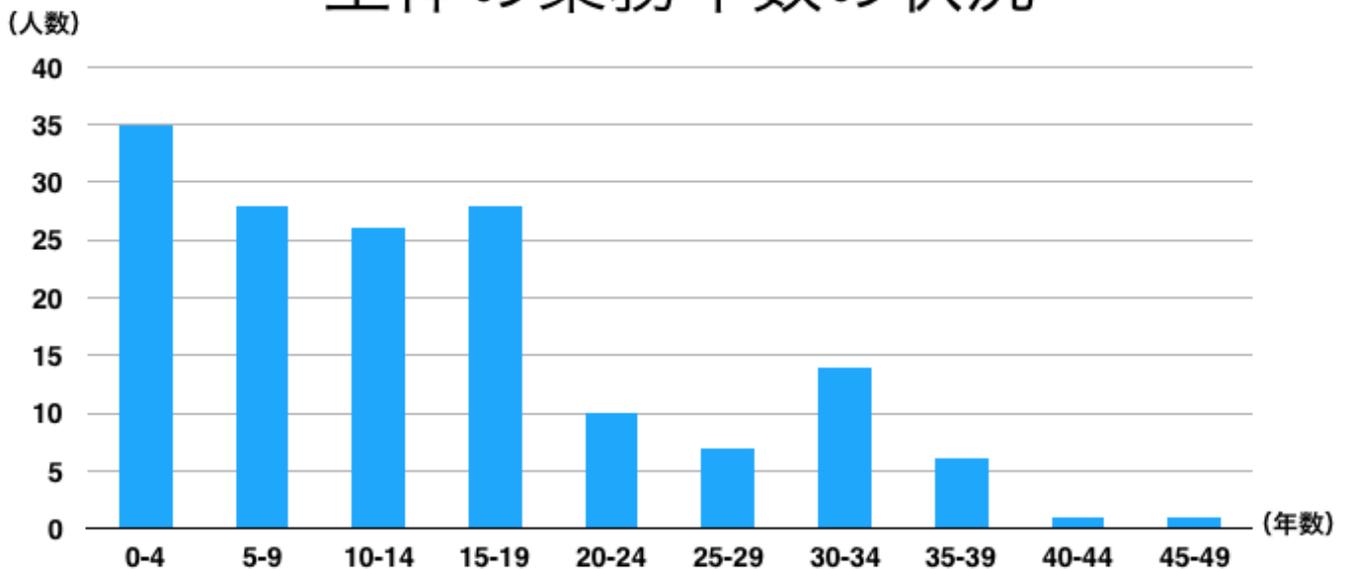
アンケート回答者の職業構成 (171件の回答)



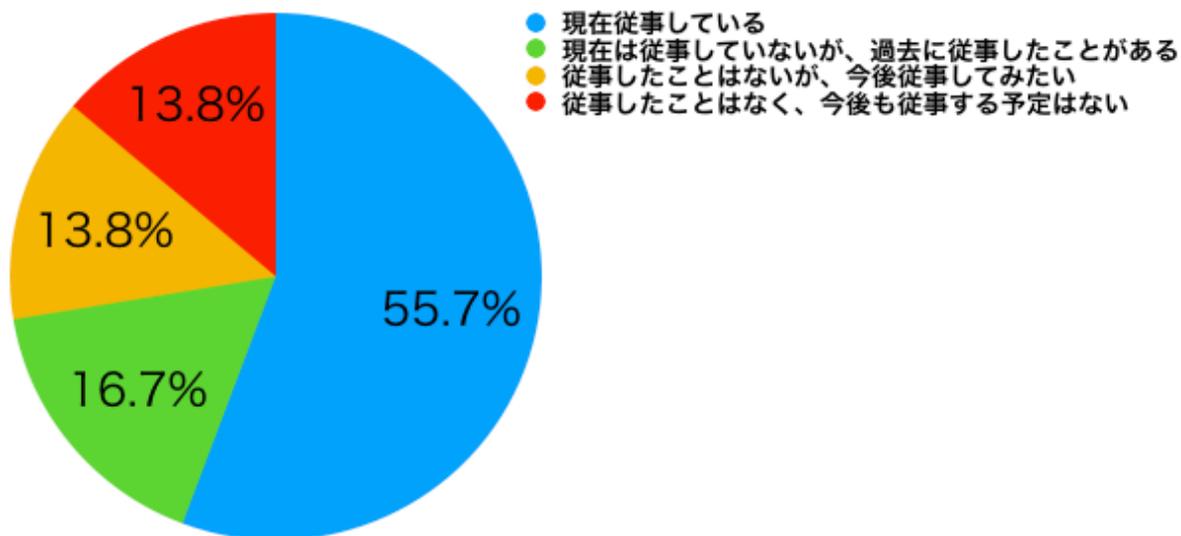
回答者全体の現在の職業内訳



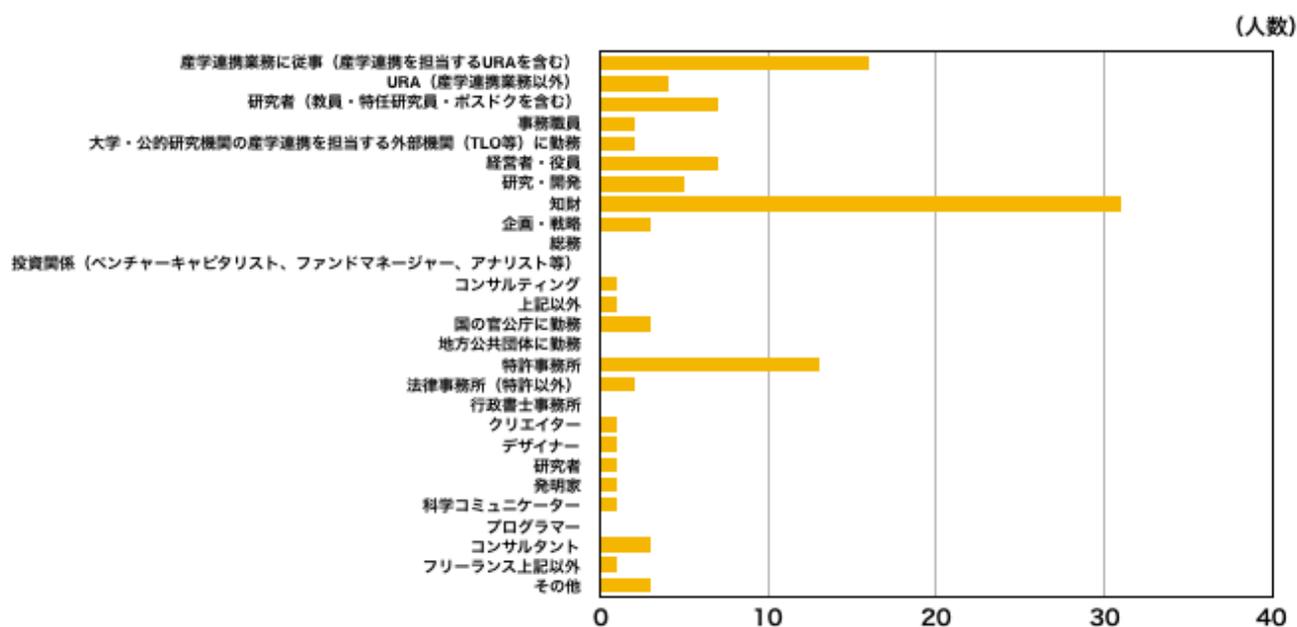
全体の業務年数の状況



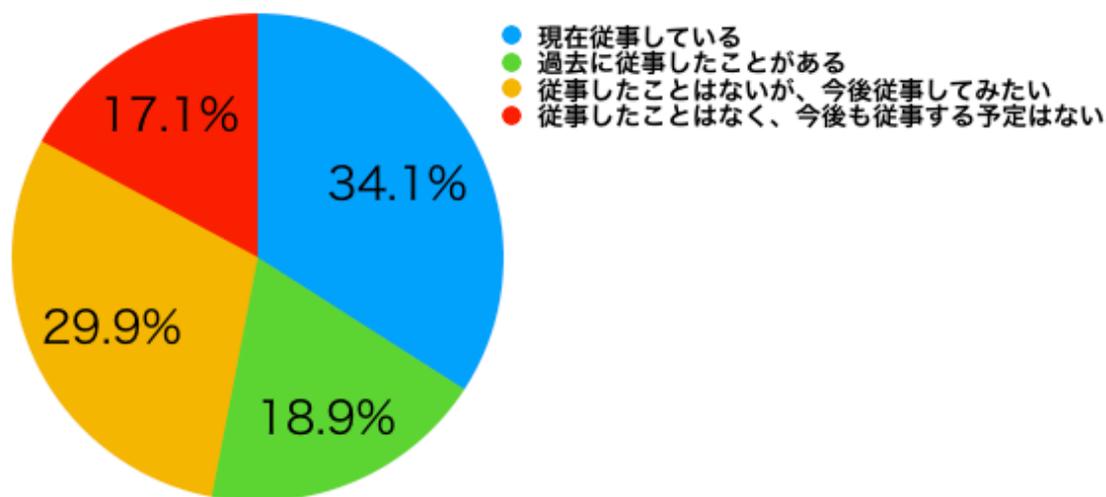
知的財産に従事に関する構成（174件の回答）



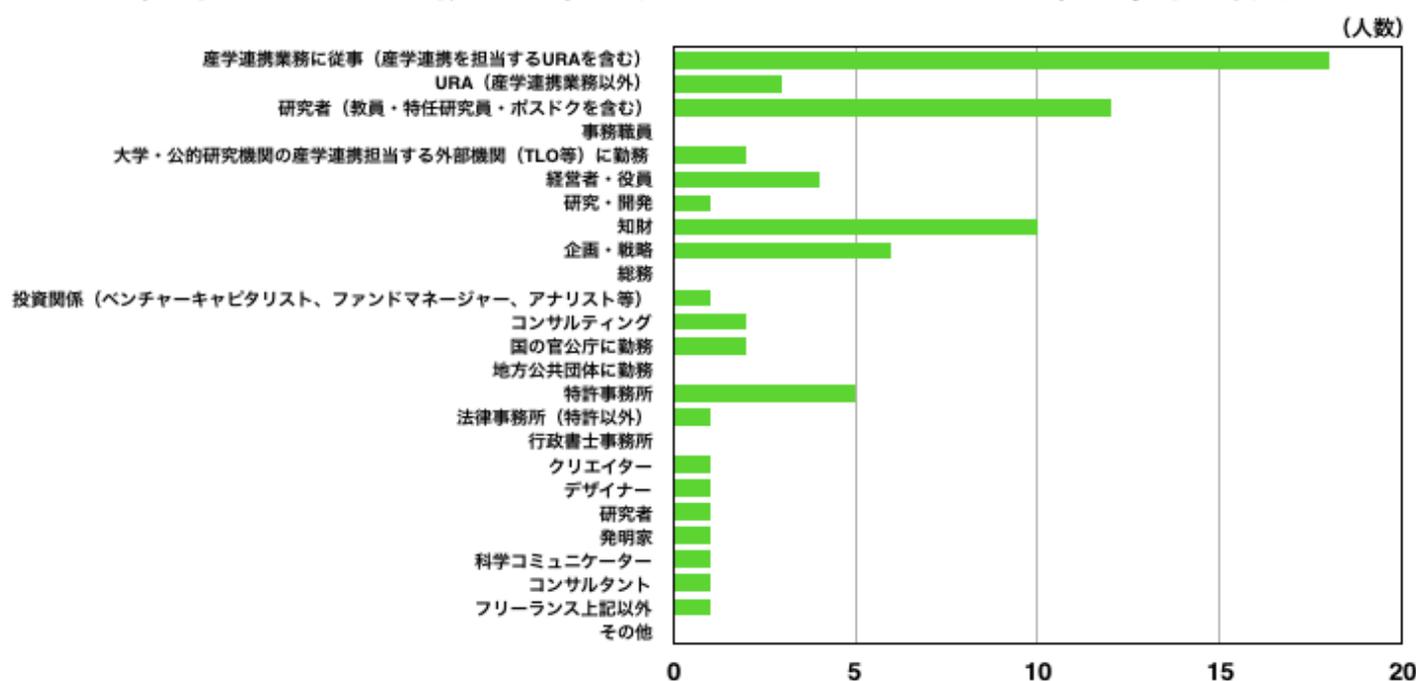
現在知的財産に従事している方の職業内訳



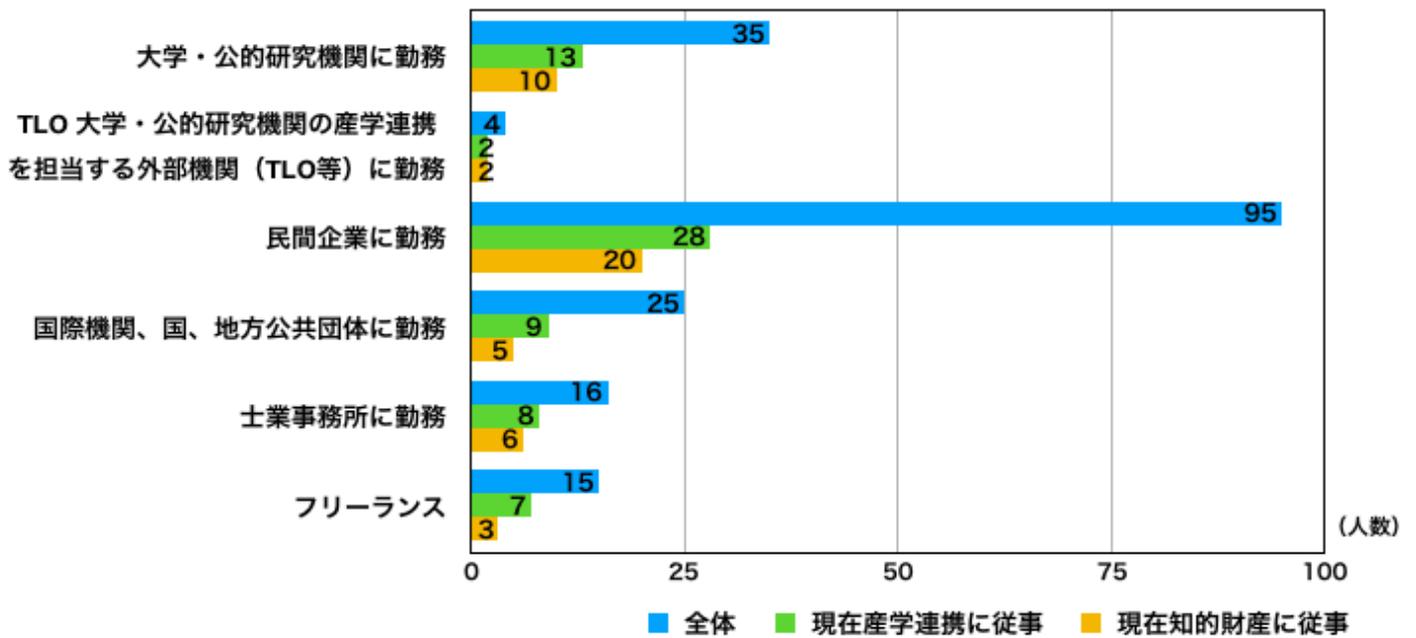
産学連携に従事に関する構成（164件の回答）



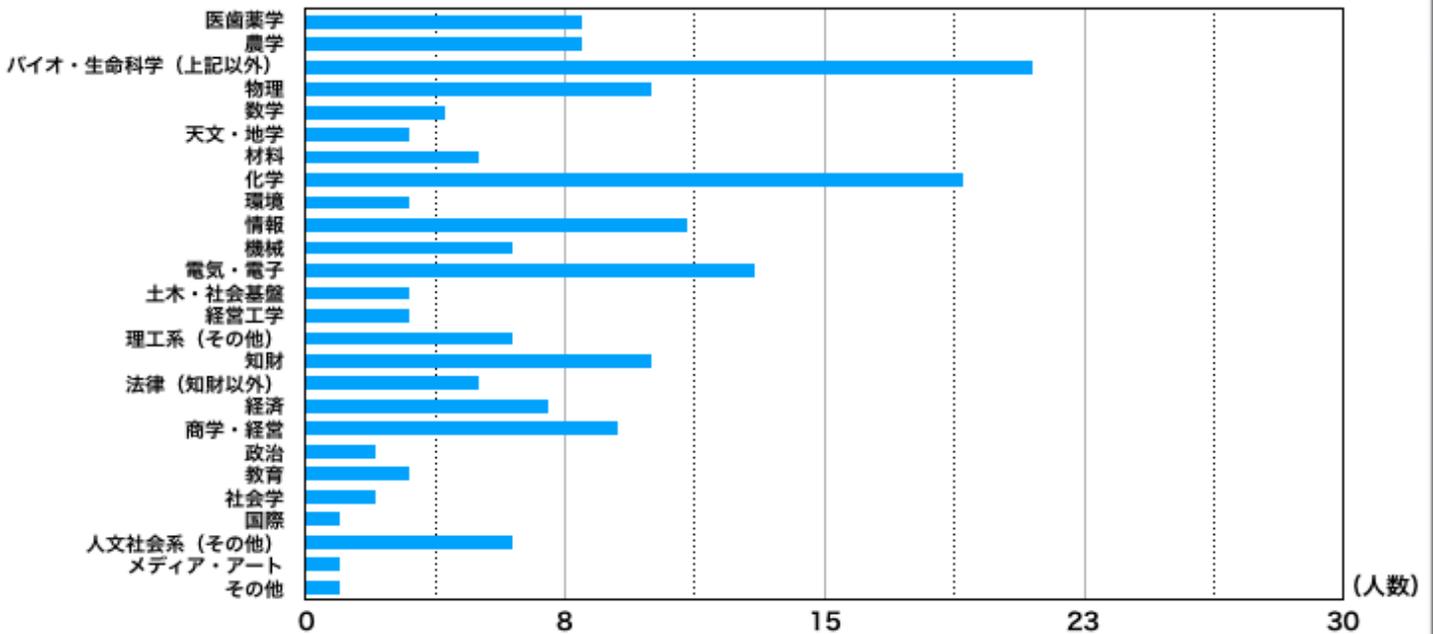
現在産学連携に従事している方の職業内訳



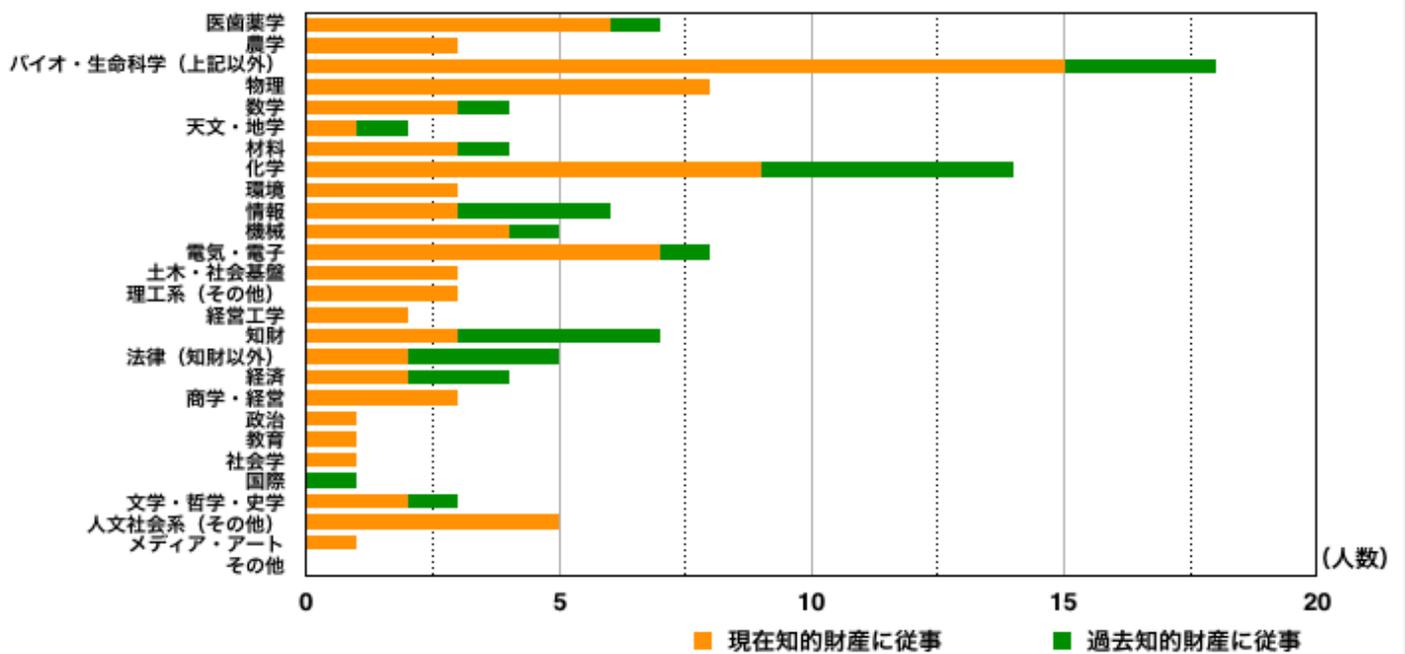
過去に携わったことのある職業



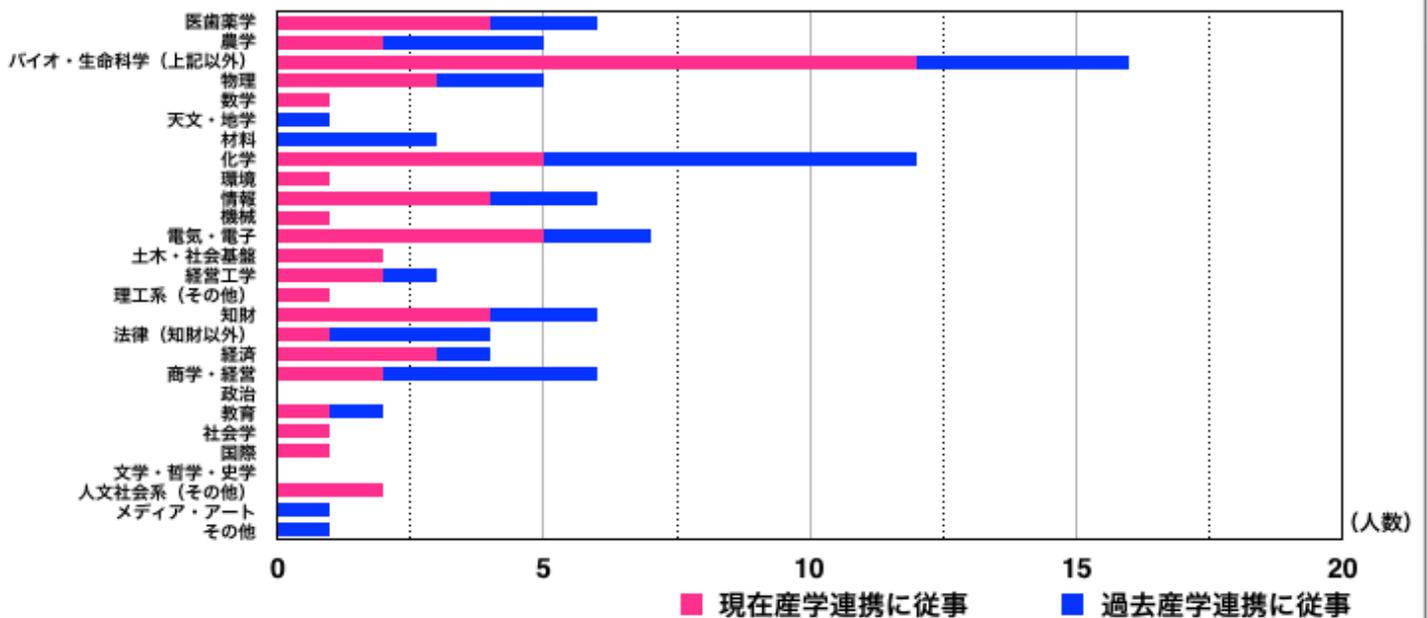
全体の専門分野構成



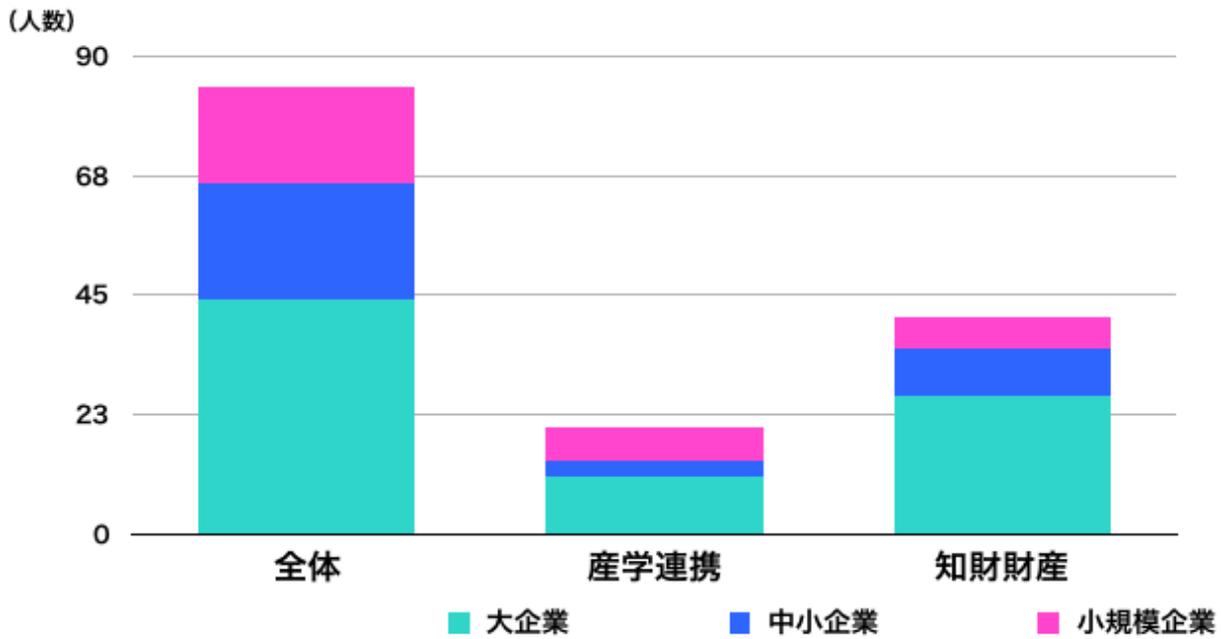
知的財産に従事している・過去にした方の専門分野



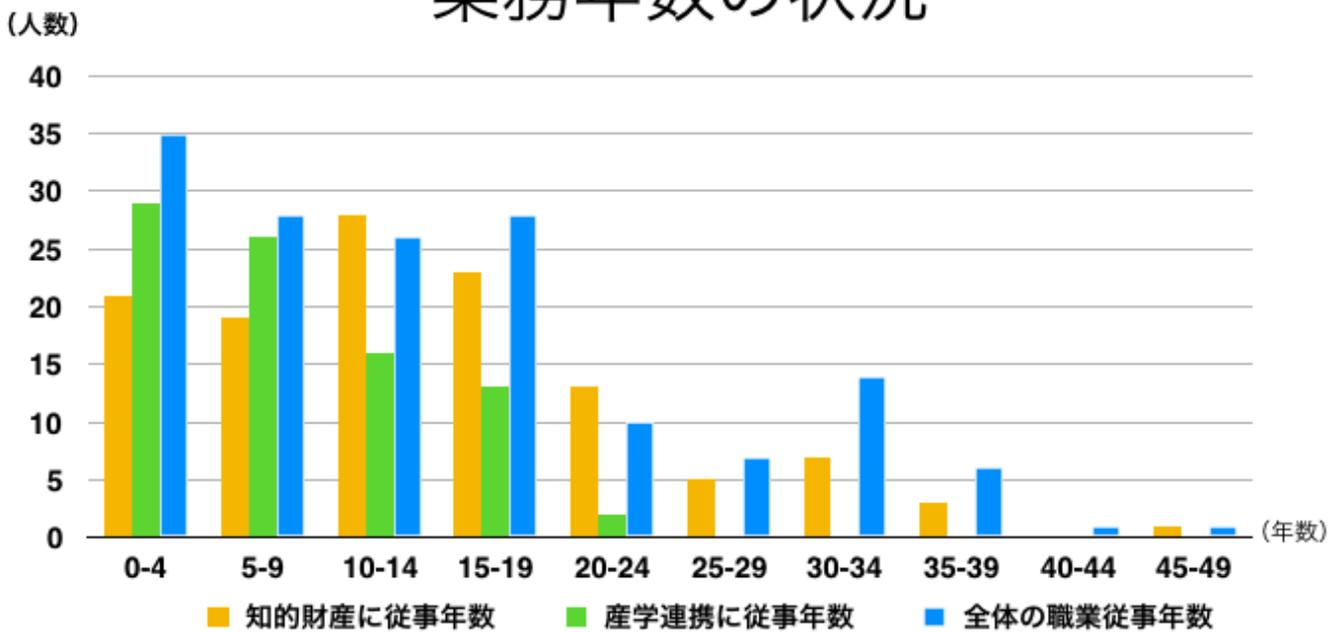
産学連携に従事している・過去にした方の専門分野



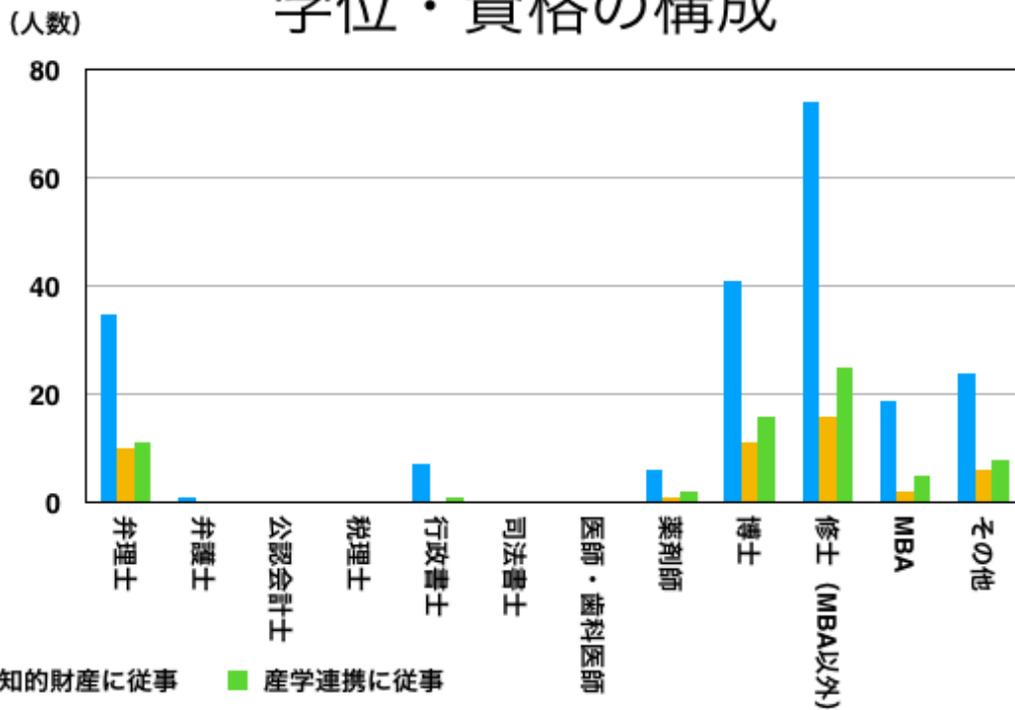
現在企業に勤務している方々の構成



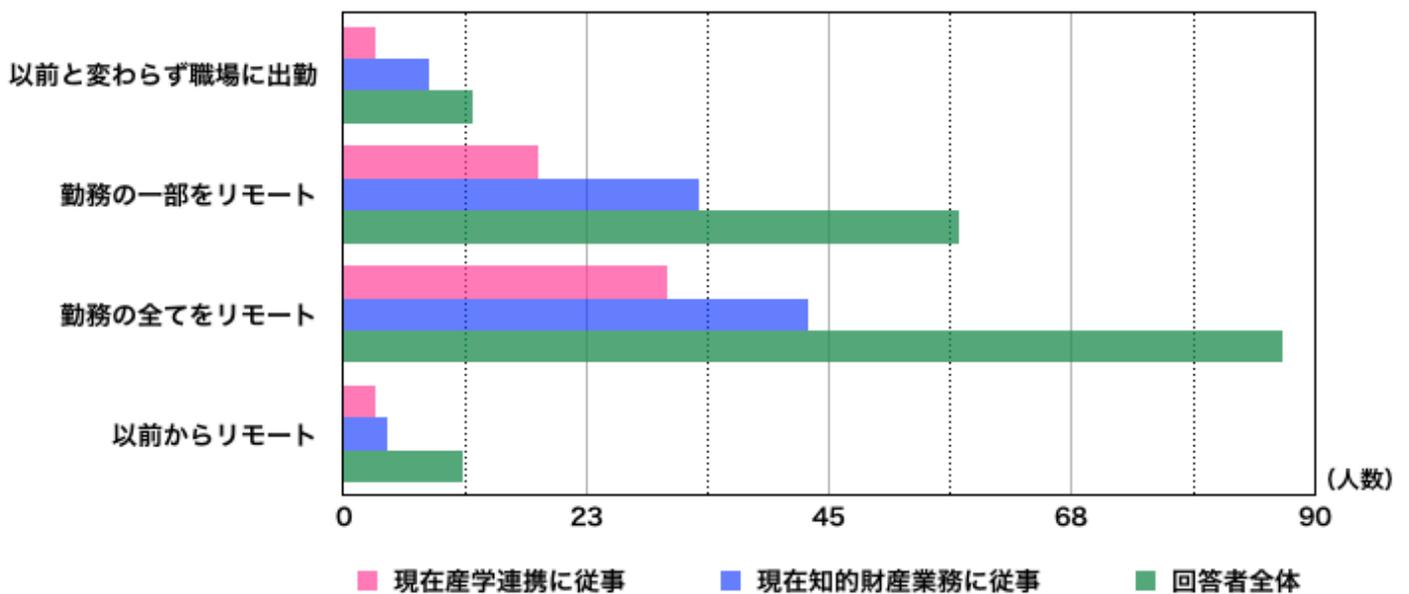
業務年数の状況



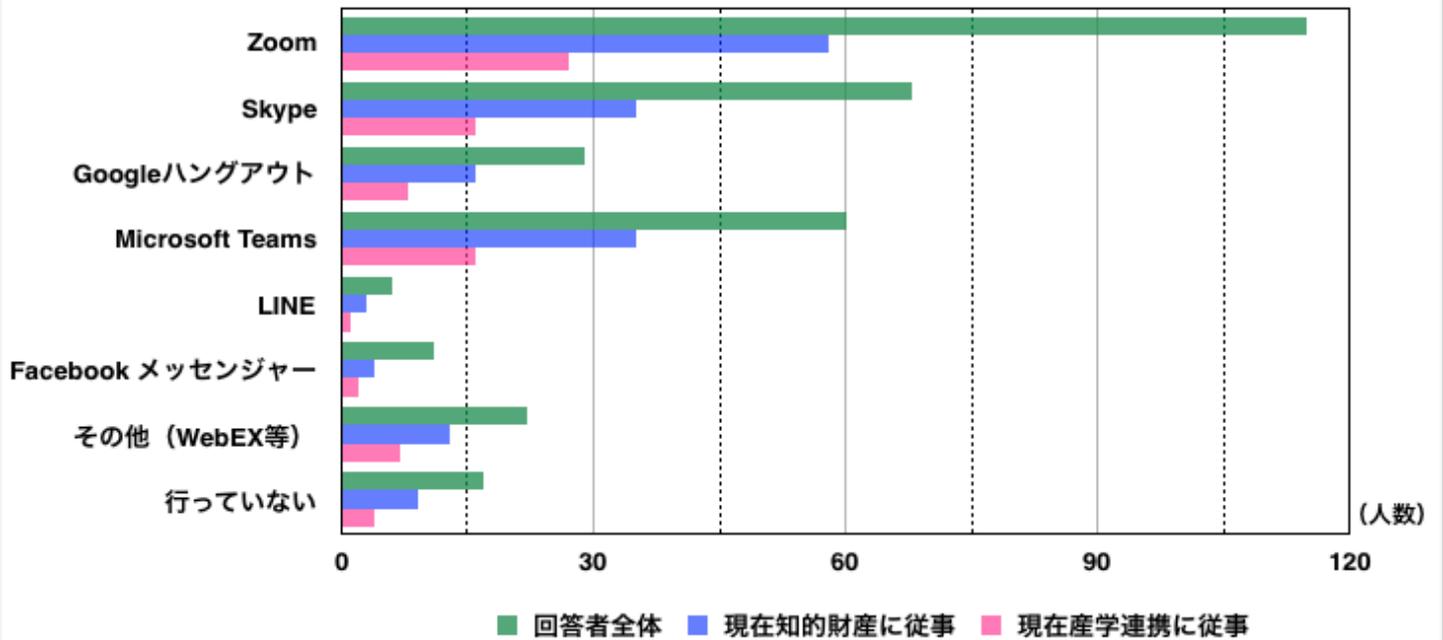
学位・資格の構成



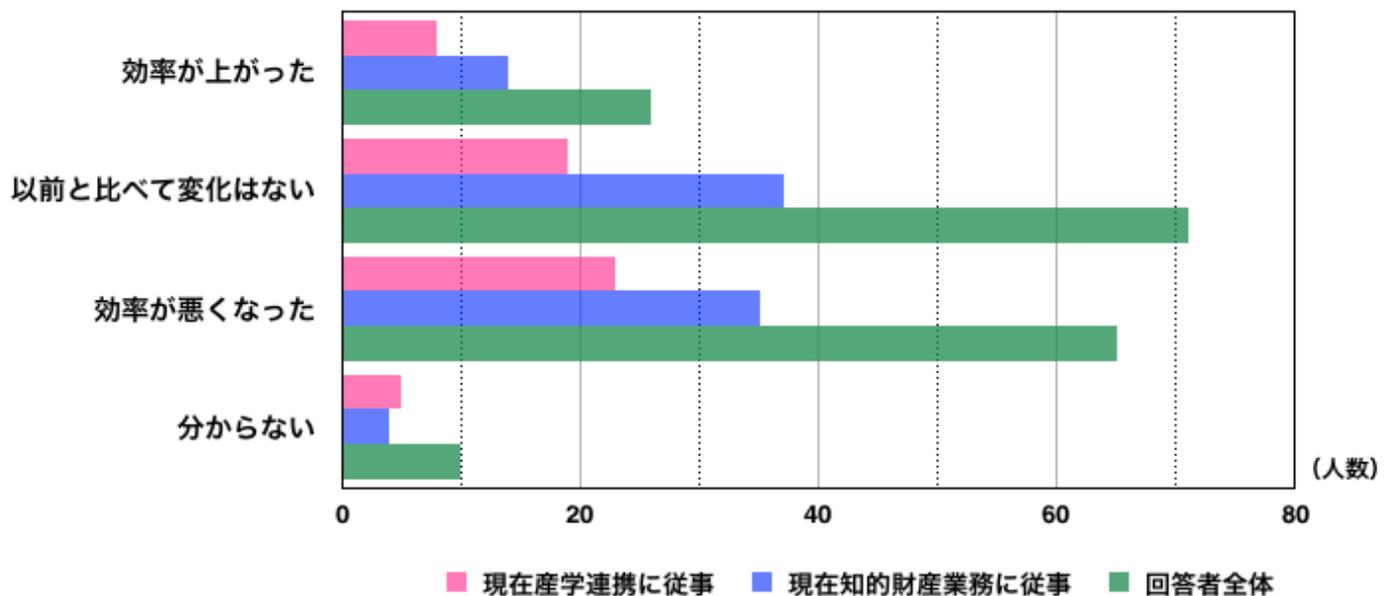
COVID-19による勤務体系の変化



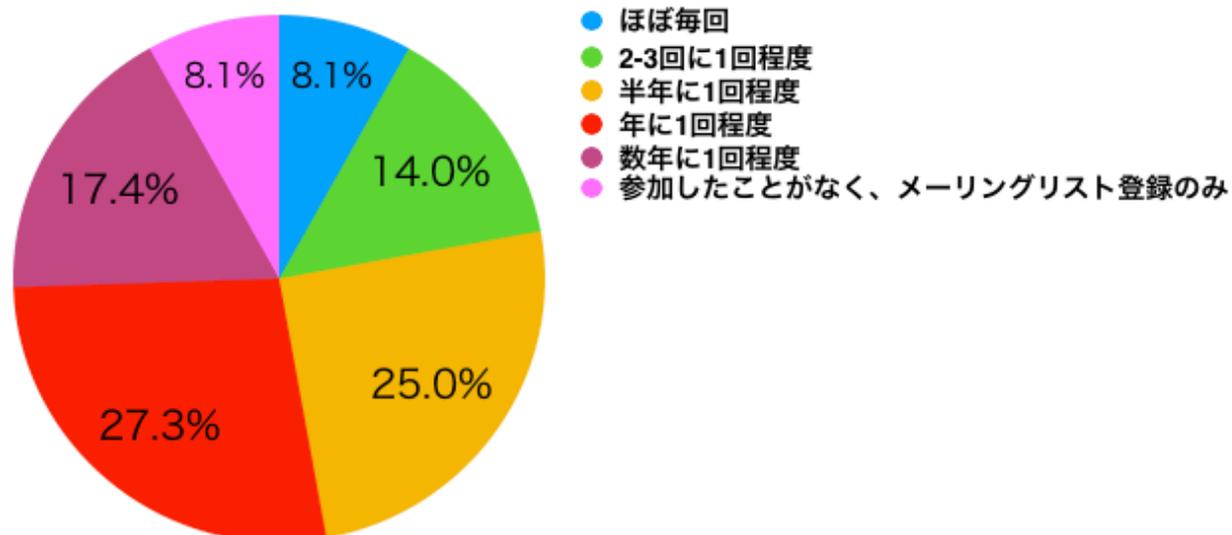
使用している遠隔会議の種類



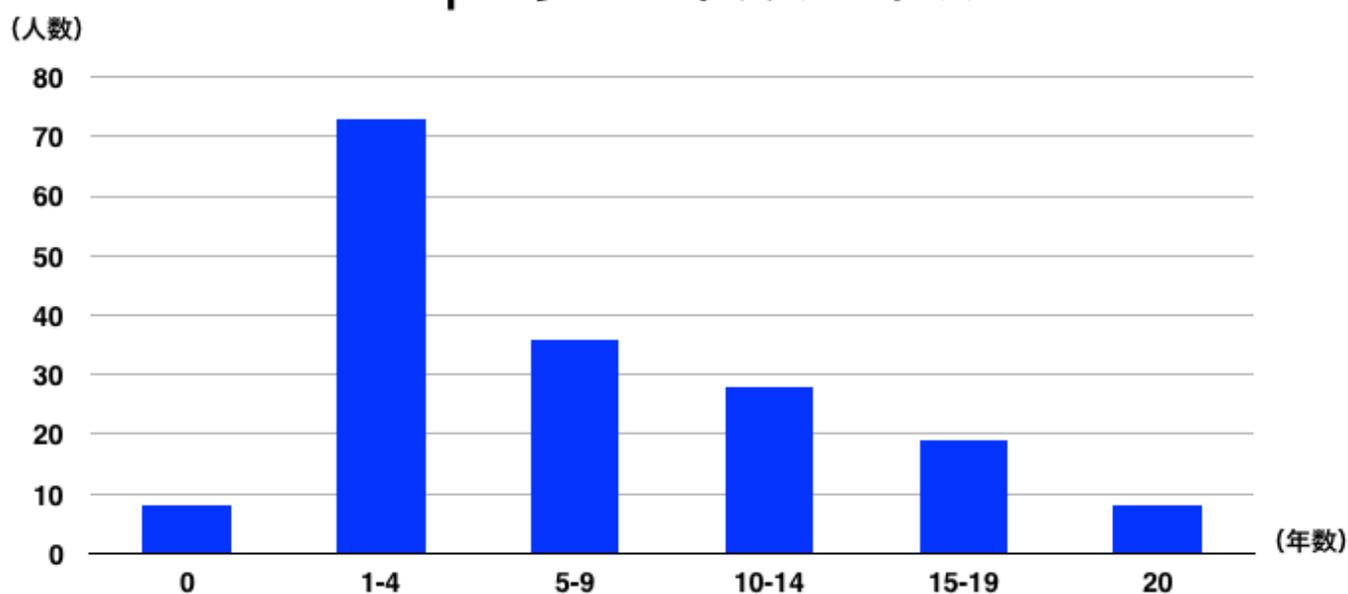
在宅ワークによる効率性



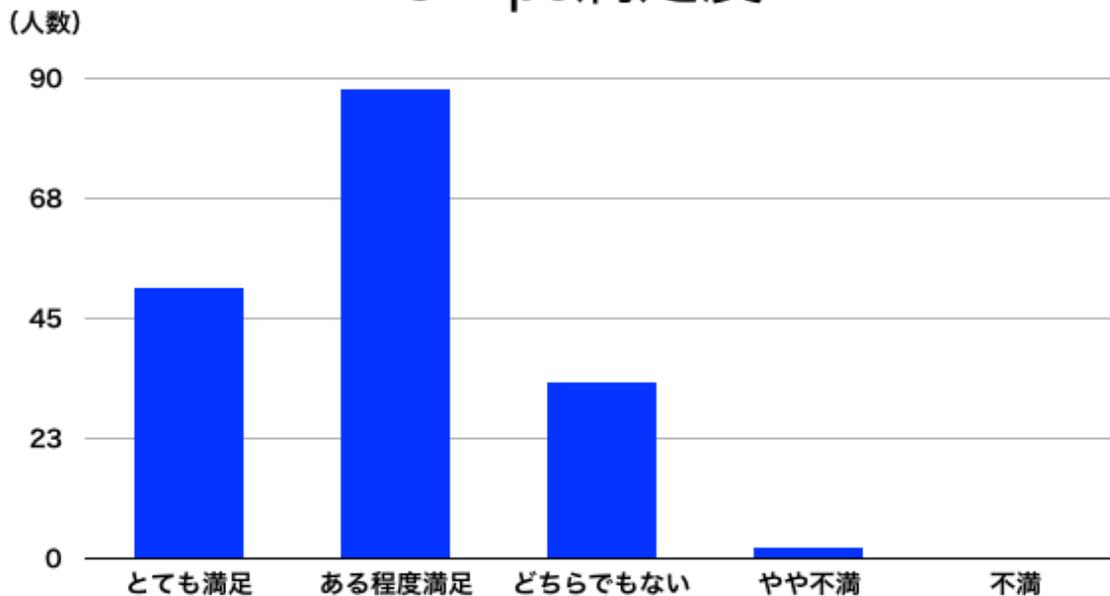
Smipsへの参加頻度 (172件の回答)



Smips参加年数の状況



Smips満足度



Smipsに参加してよかった、役に立った点

- 色々な立場の方から問題提起や提案がある。
- 人脈が広がる。
- 産学連携やURAに詳しくなった。
- 産学連携に関する幅広い知見が得られている。
- 標準化に関するセミナー、議論等で理解が深まり業務に役立った。社内でのOJT等で学ぶ実務とはまた異なった観点で知財に係る事項のお話を聞けるのは新鮮。
- 知財協とは異なる知財活動やそれにまつわる研究活動を知ることができる点。先進事例のキャッチアップなどでも良い情報源。
- 技術移転や産学連携について、基礎から応用までしっかり学ばせていただきました。
- 学生のころから所属しており、URAという職業に出会うことができました。

今後Smipsに望むこと

- 遠隔会議の積極活用。
- 知的財産戦略、産学連携の立案、実施、成果の一貫した事案の提供と議論。
- 関西でのイベントを増やして欲しい。
- 最新情報を学んで知見をアップデートする機会の提供を今後も引き続き期待しております。
- 内容が知財専門家には浅く物足りない。より専門的な内容を期待する。
- テーマを絞った問題提起、論点設定の方法、執筆、オンライン授業。
- フロンティア感性、起業家精神を醸成できる場であり続けて欲しい。
- 日本の技術の海外展開の可能性について、知的財産、国際標準化の両面からの取り組みをされることを期待します。
- Smips関係者がもつ多くの英知と技術を集結し、新型コロナウイルスに立ち向かう仕組みができれば幸いです。

オンラインアンケート内容

問1 あなたの年齢・性別は、以下のうちどれに該当しますか。

年齢（ ）： 20-29歳 30-39歳 40-49歳 50-59歳 60歳以上

性別（ ）： 男性 女性

問2 あなたの現在のお仕事は、次のうちどれですか。(問2は以下全て複数回答可能)

- ・ 大学・公的研究機関に勤務 → a
- ・ 大学・公的研究機関の産学連携を担当する外部機関（TLO等）に勤務 → b
- ・ 民間企業に勤務 → c
- ・ 国際機関、国、地方公共団体に勤務 → d
- ・ 士業事務所に勤務 → e
- ・ フリーランス → f
- ・ 学生 → g
- ・ その他（ ）

問2-a 問2-1で大学・公的研究機関に勤務をご回答された方にお尋ねします。以下のうちどれに該当しますか。

- ・ 産学連携業務に従事（産学連携を担当するURAを含む）
- ・ URA（産学連携業務以外）
- ・ 研究者（教員・特任研究員・ポスドクを含む）
- ・ 事務職員
- ・ その他（ ）

問 2-b 問 2-1で大学・公的研究機関の産学連携を担当する外部機関（TLO等）をご回答された方にお尋ねします。以下のうちどれに該当しますか。

- ・承認・認定TLO
- ・その他（ ）

問 2-c 問 2-1で民間企業に勤務をご回答された方にお尋ねします。以下のうちどれに該当しますか。※中小企業と小規模企業については、以下の中小企業庁の定義をご参照ください。その定義における中小企業よりも大きい場合は大企業としてください。https://www.chusho.meti.go.jp/faq/faq/faq01_teigi.htm

- ・大企業
- ・中小企業
- ・小規模企業

問 2-c-2 問 2-1で民間企業に勤務をご回答された方にお尋ねします。以下のうちどれに該当しますか。

- ・経営者・役員
- ・研究・開発
- ・知財
- ・企画・戦略
- ・総務
- ・投資関係（ベンチャーキャピタリスト、ファンドマネージャー、アナリスト等）
- ・コンサルティング
- ・その他（ ）

問 2-d 問 2-1で国際機関、国、地方公共団体に勤務をご回答された方にお尋ねします。以下のうちどれに該当しますか。

- ・ 国際機関に勤務
- ・ 国の官公庁に勤務
- ・ 地方公共団体に勤務
- ・ その他（ ）

問 2-e 問 2-1で士業事務所に勤務をご回答された方にお尋ねします。以下のうちどれに該当しますか。

- ・ 特許事務所
- ・ 法律事務所（特許以外）
- ・ 会計事務所
- ・ 税理士事務所
- ・ 行政書士事務所
- ・ 司法書士事務所
- ・ その他（ ）

問 2-f 問 2-1でフリーランスに勤務をご回答された方にお尋ねします。以下のうちどれに該当しますか。

- ・ クリエイター
- ・ デザイナー
- ・ 研究者
- ・ 発明家
- ・ 科学コミュニケーター
- ・ プログラマー
- ・ コンサルタント

- ・ジャーナリスト
- ・その他（ ）

問2-g 問2-1で学生をご回答された方にお尋ねします。以下のうちどれに該当しますか。

- ・学部生
- ・大学院修士課程在学中
- ・大学院博士課程在学中
- ・専門学校
- ・その他（ ）

問3 問2でお答えになった仕事（複数ある場合は最も主要なもの）での、現在までの業務経験年数は、何年ですか。数字のみご記入ください。（端数は、半年以上は切り上げ、半年未満は切り捨ててください。）

問4 問2でお答えになった現在なさっている仕事以外で、あなたがこれまでにご経験なさったことがある仕事は、次のうちどれですか。（複数回答可能）

- ・大学・公的研究機関に勤務
- ・大学・公的研究機関の産学連携を担当する外部機関（TLO等）に勤務
- ・民間企業に勤務
- ・国際機関、国、地方公共団体に勤務
- ・士業事務所に勤務
- ・フリーランス

問5-1 あなたの出身の専攻分野は次うちどれですか。学生の方は現在の専攻分野、それ以外の方は学生時代の専攻分野（複数ある場合は最も主要なもの）について、最も近いものをお選びください。

- 医歯薬学、農学、バイオ・生命科学（上記以外）、物理、数学、天文・地学、材料、化学、環境、情報、機械、電気・電子、土木・社会基盤、経営工学、理工系（その他）、知財、法律（知財以外）、経済、商学・経営、政治、教育、社会学、国際、文学・哲学・史学、人文社会系（その他）、美術、音楽、メディアアート、芸術系（その他）、体育系、上記以外

問5-2 問5-1の設問で「上記以外」を選んだ方は、専攻分野を以下にご記入ください。

問6 あなたがお持ちの学位・資格等があれば、お答えください。（複数回答可能）

- 弁理士、弁護士、公認会計士、税理士、行政書士、司法書士、医師・歯科医師、薬剤師、博士、修士（MBA以外）、MBA（国内、国外を問わない）、その他（ ）

問7-1 現在あるいは過去に、業務の一環として、知的財産に関する業務に従事したことがありますか。また、従事したことがない場合は、今後従事したいですか。

- ・ 現在従事している
- ・ 現在は従事していないが、過去に従事したことがある
- ・ 従事したことはないが、今後従事してみたい
- ・ 従事したことはなく、今後も従事する予定はない

問7-2 知的財産に関する業務に従事したことがある方に、お尋ねします。現在までの知的財産に関する業務の経験年数は、何年ですか。数字のみご記入ください。（端数は、半年以上は切り上げ、半年未満は切り捨ててください。）

問8-1 現在あるいは過去に、業務の一環として、産学連携に関する業務に従事したことがありますか。また、従事したことがない場合は、今後従事したいですか。

- ・ 現在従事している
- ・ 現在は従事していないが、過去に従事したことがある
- ・ 従事したことはないが、今後従事してみたい
- ・ 従事したことはなく、今後も従事する予定はない

問8-2 産学連携に関する業務に従事したことがある方に、お尋ねします。現在までの産学連携に関する業務の経験年数は、何年ですか。数字のみご記入ください。（端数は、半年以上は切り上げ、半年未満は切り捨ててください。）

問9 新型コロナウイルス感染対策として政府の緊急事態宣言が出されている状況下で、仕事のやり方にどのような影響が出ていますか。

- ・ 以前と変わらず職場に出勤している
- ・ 勤務の一部をリモートワークに切り替えた
- ・ 勤務のすべてをリモートワークに切り替えた
- ・ 以前からリモートワークだったので変化はない
- ・ その他（ ）

問10 新型コロナウイルス感染対策として政府の緊急事態宣言が出されている状況下で、仕事の効率はどうのように変化しましたか。

- ・仕事の効率が上がった
- ・以前と変化はない
- ・仕事の効率が悪くなった
- ・わからない

問11 現在、遠隔会議を行っていますか。また、どのような方法で行っていますか。（複数回答可能）

- ・Zoomによる遠隔会議を行っている
- ・Skypeによる遠隔会議を行っている
- ・Googleハンダウトによる遠隔会議を行っている
- ・Microsoft Teams電話による遠隔会議を行っている
- ・LINEによる遠隔会議を行っている
- ・Facebookメッセージによる遠隔会議を行っている
- ・遠隔会議を行っていない。
- ・その他（ ）

問12 Smipsにこれまでどのくらいの頻度で参加なさっていますか。

- ・ほぼ毎回
- ・2-3回に1回程度
- ・半年に1回程度
- ・年に1回程度
- ・数年に1回程度
- ・参加したことがなく、メーリングリスト登録のみである。

問13 Smipsに参加して何年目になりますか。数字のみご記入ください。
(端数は、半年以上は切り上げ、半年未満は切り捨ててください。)

問14 Smipsの満足度は全体としてどの程度ですか。

とても満足・ある程度満足・どちらでもない・やや不満・とても不満

問15 Smipsに参加してよかった・役立ったと思うことがございましたら、
ご回答ください。(自由記述)

問16 今後Smipsに望むことがありましたらご記入ください。(自由記述)

以上

今回のアンケートにご回答いただきご協力くださった皆様、誠にありがとうございました。貴重な資料として活用させていただきます。知的財産マネジメント研究会は皆様と共に発展してまいります。今後共どうぞよろしくお願いいたします。

【調査実施担当者】

隅藏康一（政策研究大学院大学教授、Smips総合オーガナイザー）

藤原奈保子（政策研究大学院大学、Smips事務局）